

市立三次中央病院
新病院基礎調査報告書

令和4年9月



三次市

目次

1. 基礎調査の目的	P1
2. 現況	P2
2.1. 敷地の現況	P2
2.2. 施設の現況	P2
2.3. 増改築工事履歴・事業スケジュール概要	P6
3. 配置計画等	P7
3.1. 配置計画概要	P7
(1) TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合	
(2) TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修の場合	
(3) TYPE3 別敷地 全面建替えの場合	
3.2. TYPE別 階構成案等	P11
(1) TYPE別 延床面積構成案	
(2) TYPE別 階構成案	
4. 事業スケジュール案・概算事業費等	P14
4.1. 整備スケジュール案	P14
(1) TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合	
(2) TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修の場合	
(3) TYPE3 別敷地 全面建替えの場合	
4.2. 概算事業費	P17
(1) TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合	
(2) TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修の場合	
(3) TYPE3 別敷地 全面建替えの場合	
5. TYPE別 比較表	P20
6. 基礎調査業務の方向性	P21

1. 基礎調査の目的

市立三次中央病院（以下「当院」という。）は、平成6年（1994）に現在の敷地に新築移転しました。建設後28年が経過しており、これまでに数回の増築・改修を実施し現在に至っています。

しかし、施設・設備の老朽化への対応、院内動線の改善、高度医療機能への対応等について、早期の対策が必要とされています。

以上の課題に対して、医療機能を継続しながらの病院機能の再整備が決定されており、令和4年5月から新病院基本構想の検討を行いました。

同時に、本基礎調査の中では病院再整備のための建設敷地の選定及び配置計画の検討等を行うこととなりました。

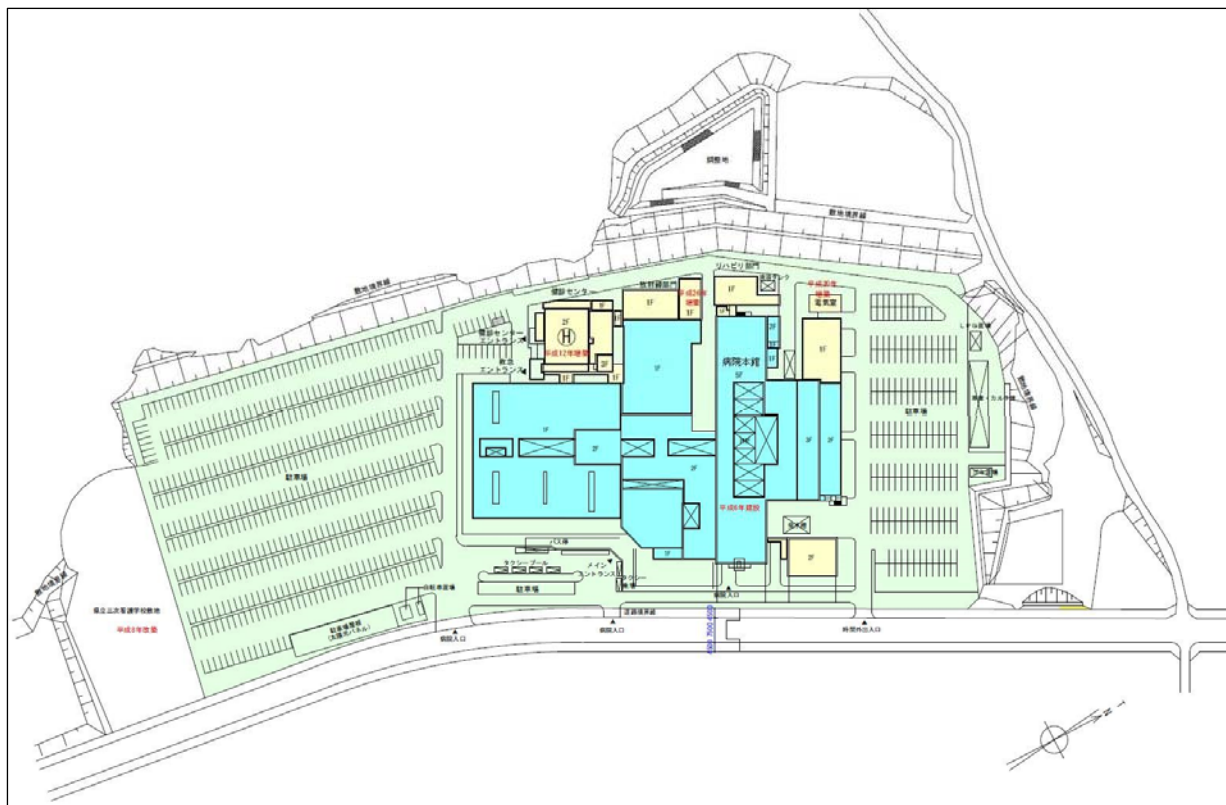
本調査についても、基本構想検討委員会の中で検討されることとなります。

2. 現況

2.1. 敷地の現況

敷地の現況として、敷地の中央やや北寄りに病院本館が建設されています。また、敷地の西側に健診センター、PET-CT 室、電気室が増築されています。

図表 2-1 現況配置図



2.2. 施設の現況

病院棟は5階建てで建設されています。

1階には、外来・救急・放射線・検査・リハビリテーション・化学療法等の診療部門、薬剤・給食などの供給部門、受付・会計・医事等の事務・管理部門が配置されています。

2階には病棟、手術、透析、事務・管理部門が配置されています。

3階から5階には病棟が配置されています。また、3階には分娩部門、NICUが配置されています。

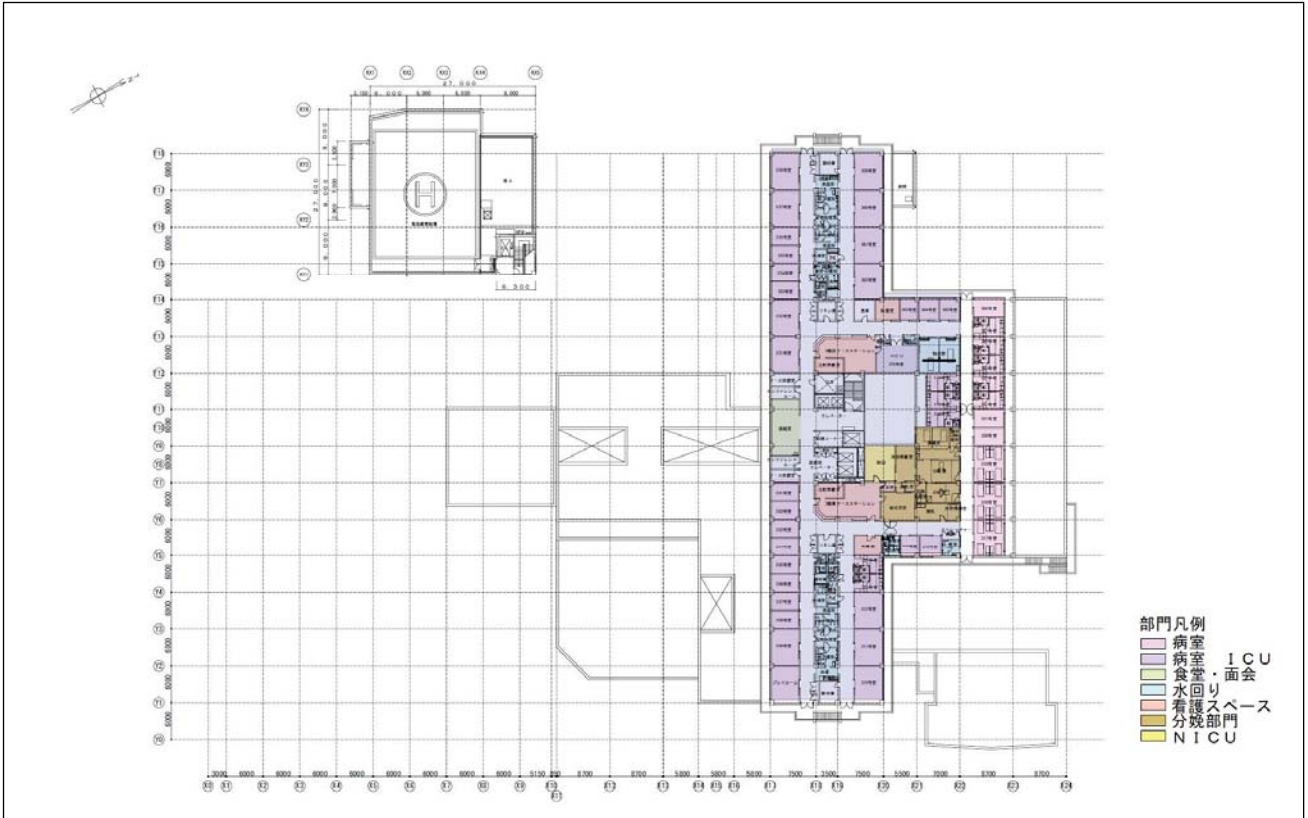
図表 2-2 1階平面図



図表 2-3 2階平面図



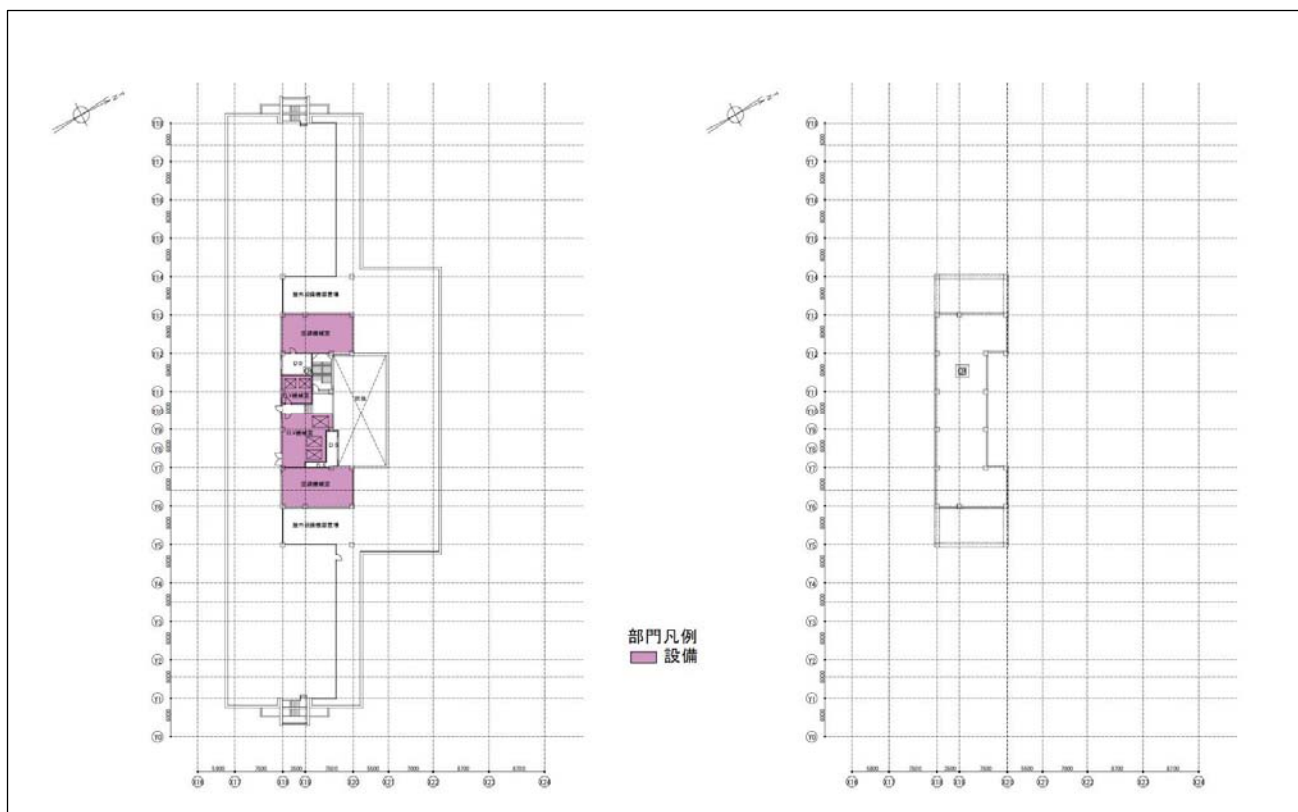
図表 2-4 3階平面図



図表 2-5 4階・5階平面図



図表 2-6 PH階平面図

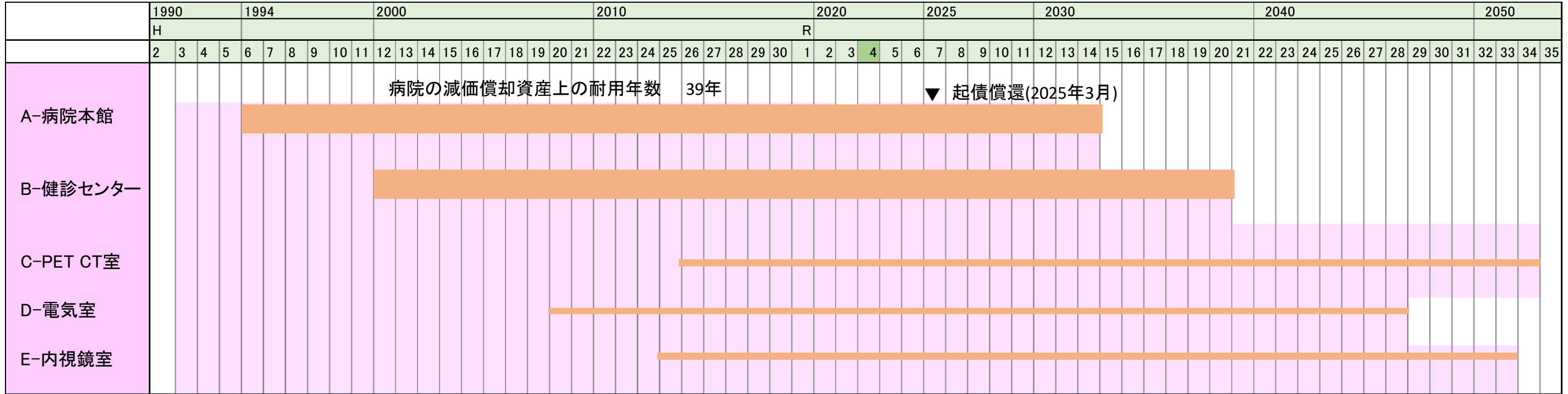


図表 2-7 現況面積一覽

	A-病院本館	B-健診センター	C-小児科外来	D-第二受電室	E-内視鏡室	F-PET-CT室	G-仮診察室	
(建設年度)	H6	H12	H19	H19	H25	H26	R2	(㎡)
PH階	288.60							288.60
5階	2,055.96							2,055.96
4階	2,055.96							2,055.96
3階	2,391.02	41.80						2,432.82
2階	4,271.45	770.10						5,041.55
1階	9,108.75	1,404.10	50.27	78.83	48.19	142.49	12.24	10,844.87
計	20,171.74	2,216.00	50.27	78.83	48.19	142.49	12.24	22,719.76

2.3. 増改築工事履歴・事業スケジュール概要

図表 2-8 増改築工事履歴



(1) 増改築履歴

当院は、平成6年（1994）9月に現在地に、病床数300床の公立病院として建設されましたが、その後、増築改修を重ねて医療需要に対応して機能の充実を図ってきています。

- 平成12年（2000） ヘリポートを備えた健診センターの増築
- 平成20年（2007） 第2電気室の増築
- 平成25年（2013） 内視鏡室の増設に伴う、増築改修工事
- 平成26年（2014） PET-CT室の増築

これらを建設年表として整理すると、図表2-8のようになります。病院施設の減価償却上の耐用年数は39年ですが、本院については建設後28年経過、健診センターは22年経過しています。なお、平成6年建設の本館部分の起債償還期限は、令和7年（2025）です。

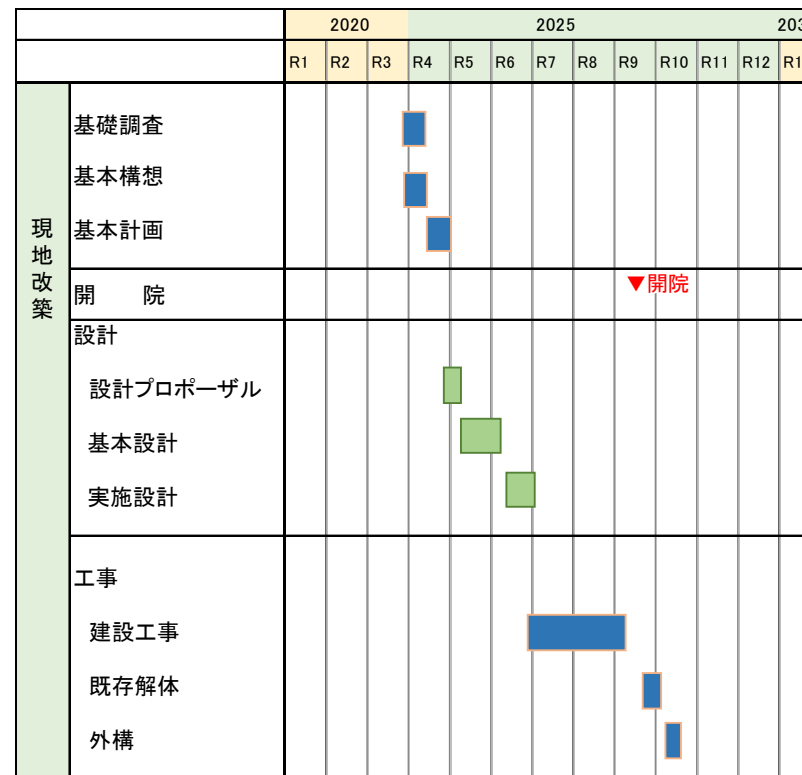
(2) 建替え時期

現在検討している建替え方式は、

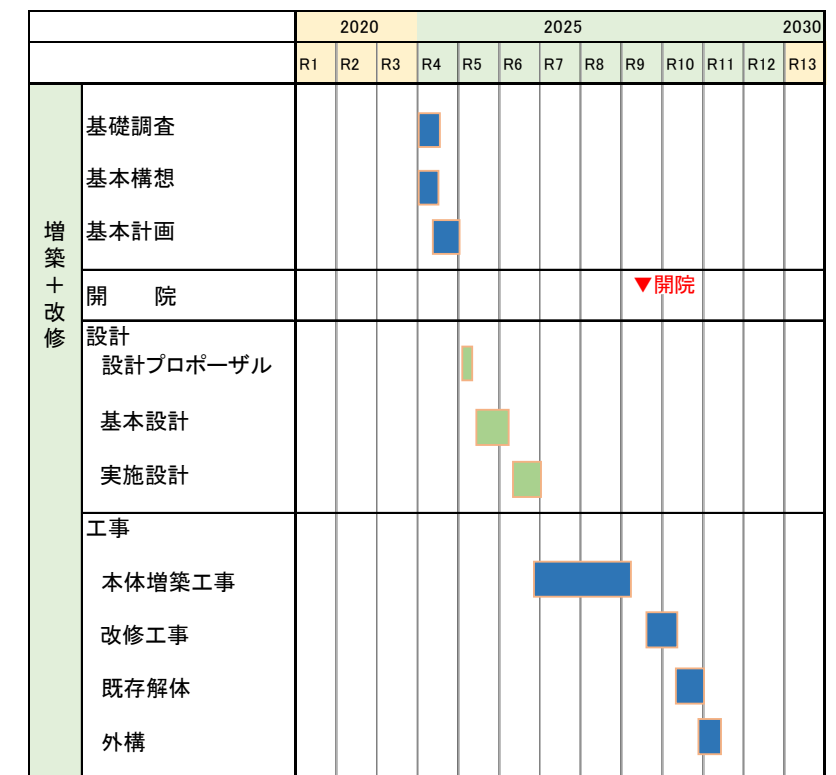
- TYPE1 現在地にて全館建替えを行う方式
- TYPE2 本館建設の6年後に建設された健診センターを、診療部門以外に転用して活用する方式
- TYPE3 現在地以外の市内に適正な規模・環境の敷地を求めて、移転する方式

TYPE1、2の今後の整備スケジュール（案）をまとめたのが、図表2-9、図表2-10です。

図表 2-9 整備スケジュール(案) TYPE1
現況敷地 全面建替えの場合



図表 2-10 整備スケジュール(案) TYPE2
現況敷地 増築+健診センター改修の場合



3. 配置計画等

3.1. 配置計画概要

配置計画案では 3 つの TYPE について比較検討しています。

TYPE1 現況敷地において、全面建替えを行う場合

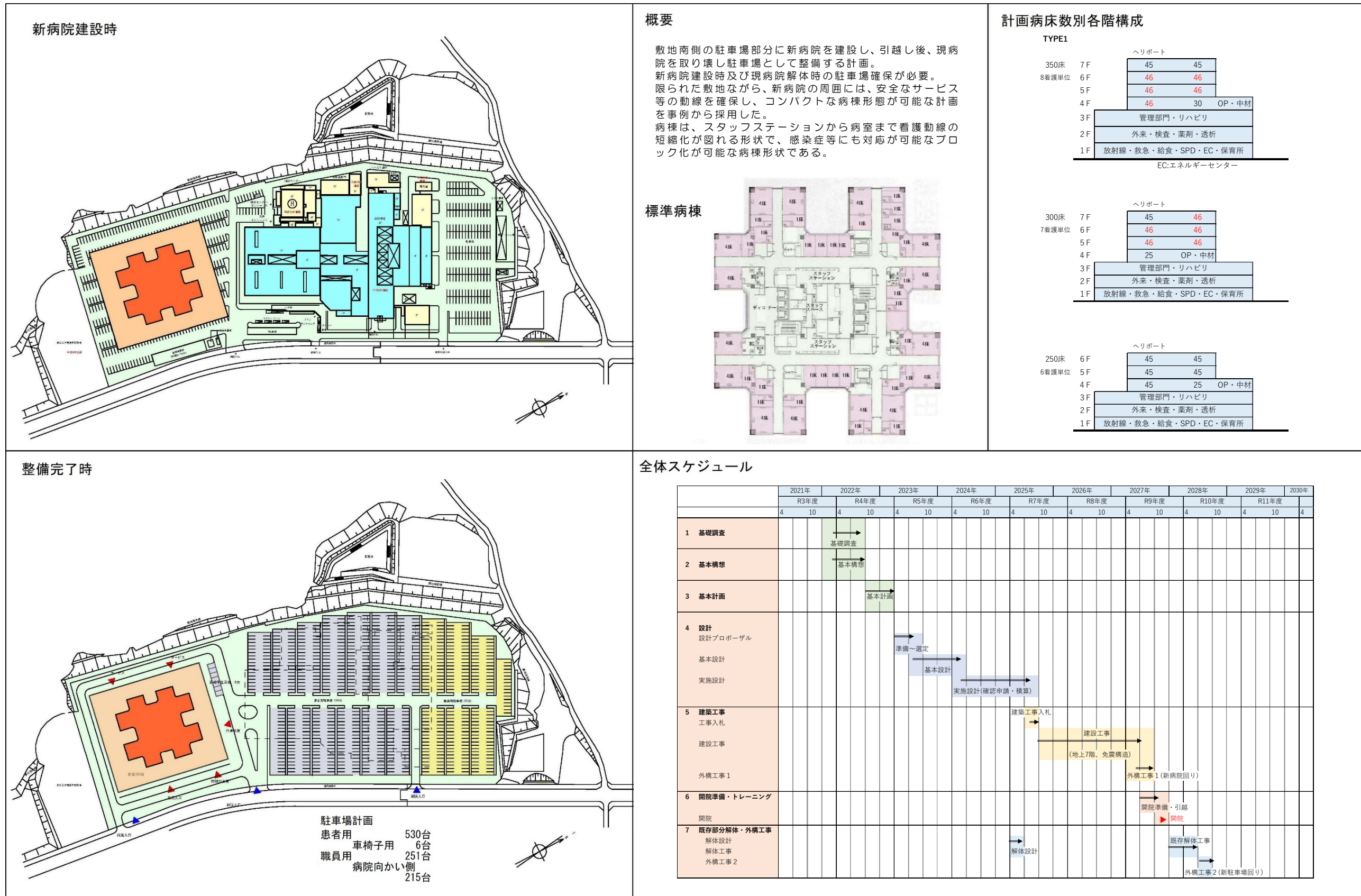
TYPE2 現況敷地において、病院本館よりも新しい健診センター棟を改修し、それ以外はすべて建替え増築する場合

TYPE3 別敷地に移転し、全面建替えを行う場合

またそれぞれの TYPE ごとに、350 床（現況）、300 床、250 床とした場合の比較も行っています。

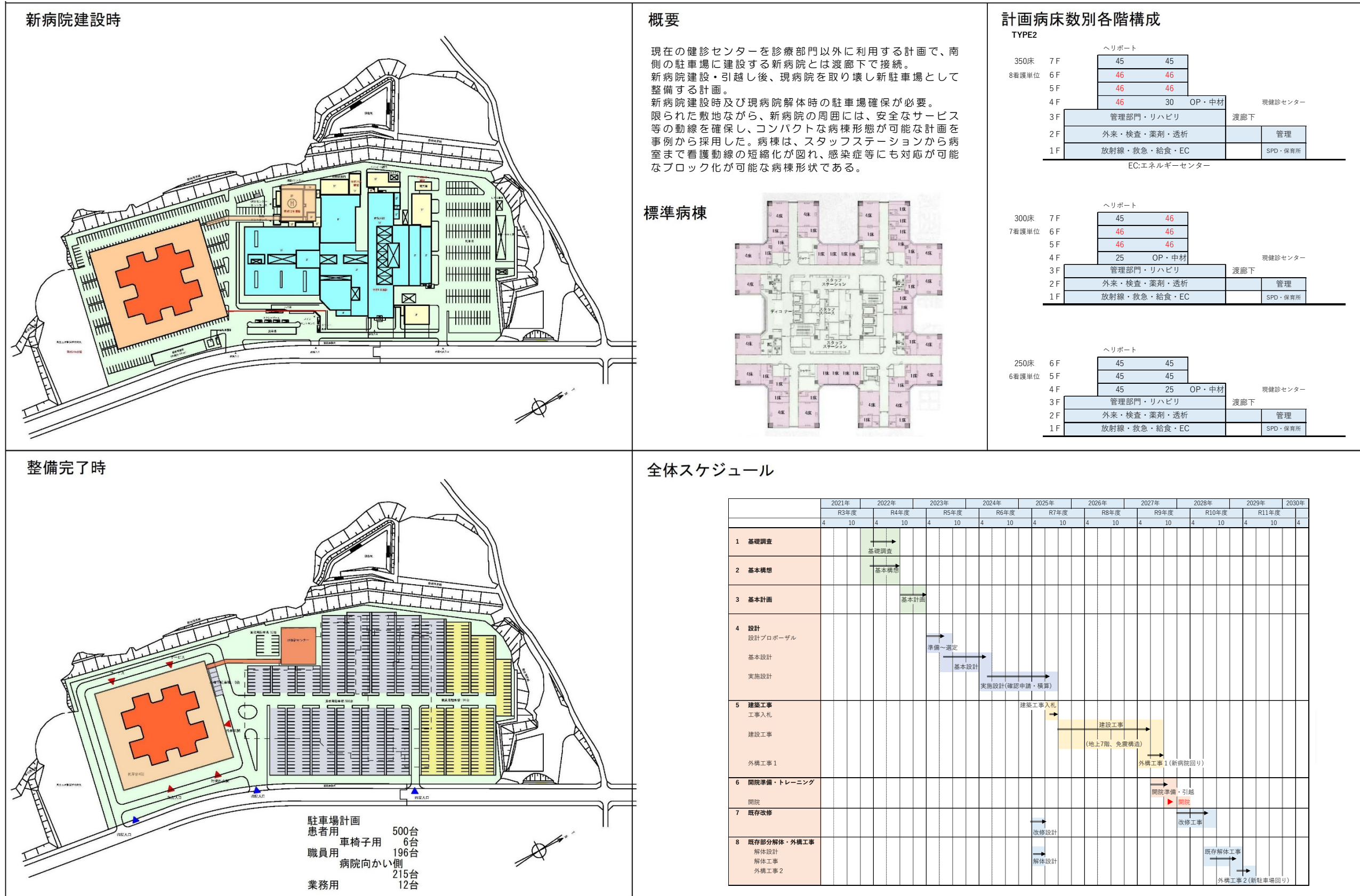
(1) TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合

図表 3-1 TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合



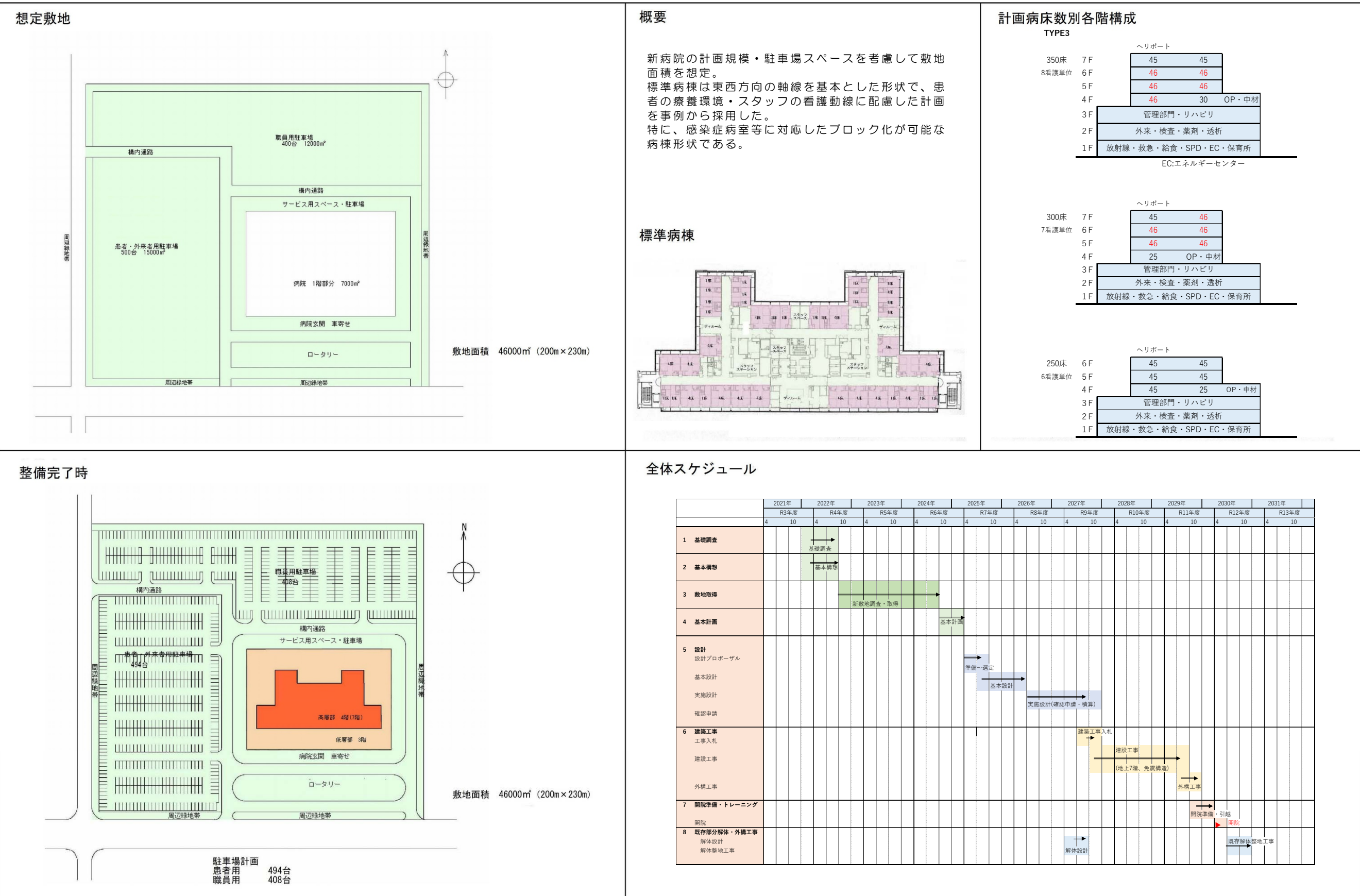
(2) TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修の場合

図表 3-2 TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修の場合



(3) TYPE3 別敷地 全面建替えの場合

図表 3-3 TYPE3 別敷地 全面建替えの場合



3.2. TYPE 別 階構成案等

(1) TYPE 別 延床面積構成案

図表 3-4 TYPE 別 延床面積構成案

TYPE1	A-350		B-300		C-250	
	7F	2500 m ²	7F	2500 m ²		
	6F	2500 m ²	6F	2500 m ²	6F	2700 m ²
	5F	2500 m ²	5F	2500 m ²	5F	2700 m ²
	4F	2800 m ²	4F	2500 m ²	4F	3000 m ²
	3F	5950 m ²	3F	4500 m ²	3F	3650 m ²
	2F	6500 m ²	2F	4500 m ²	2F	3700 m ²
	1F	7000 m ²	1F	6500 m ²	1F	5500 m ²
	計	29750 m ²	計	25500 m ²	計	21250 m ²
	29750-2500*3-2800=		25500-2500*4=		21250-2700*2-3000=	
	19450 m ²		15500 m ²		12850 m ²	
	19450÷3=		15500÷3=		12850÷3=	
	6500 m ²		5200 m ²		4300 m ²	
	1階床面積		1階床面積		1階床面積	
	7000 m ²		6500 m ²		5500 m ²	
	2・3階床面積		2・3階床面積		2・3階床面積	
	6225 m ²		4500 m ²		3675 m ²	

TYPE2	A-350		B-300		C-250	
	7F	2500 m ²	7F	2500 m ²		
	6F	2500 m ²	6F	2500 m ²	6F	2500 m ²
	5F	2500 m ²	5F	2500 m ²	5F	2500 m ²
	4F	2800 m ²	4F	2500 m ²	4F	2800 m ²
	3F	5034 m ²	3F	3284 m ²	3F	3170 m ²
		42 m ²		42 m ²		42 m ²
	2F	5200 m ²	2F	3500 m ²	2F	3350 m ²
		770 m ²		770 m ²		770 m ²
	1F	7000 m ²	1F	6500 m ²	1F	4714 m ²
		1404 m ²		1404 m ²		1404 m ²
	計	27534 m ²	計	23284 m ²	計	19034 m ²
		2216 m ²		2216 m ²		2216 m ²
	27534-2500*3-2800=		23284-2500*4=		19034-2500*2-2800=	
	17234 m ²		13284 m ²		11234 m ²	
	17234÷3=		13284÷3=		11234÷3=	
	5700 m ²		4400 m ²		3700 m ²	
	1階床面積		1階床面積		1階床面積	
	7000 m ²		6500 m ²		5000 m ²	
	2・3階床面積		2・3階床面積		2・3階床面積	
	5117 m ²		3392 m ²		3260 m ²	

TYPE3	A-350		B-300		C-250	
	7F	2700 m ²	7F	2700 m ²		
	6F	2700 m ²	6F	2700 m ²	6F	2700 m ²
	5F	2700 m ²	5F	2700 m ²	5F	2700 m ²
	4F	3000 m ²	4F	2700 m ²	4F	3000 m ²
	3F	5550 m ²	3F	4100 m ²	3F	3600 m ²
	2F	6100 m ²	2F	4100 m ²	2F	3750 m ²
	1F	7000 m ²	1F	6500 m ²	1F	5500 m ²
	計	29750 m ²	計	25500 m ²	計	21250 m ²
	29750-2700*3-3000=		25500-2700*4=		21250-2700*2-3000=	
	18650 m ²		14700 m ²		12850 m ²	
	18650÷3=		14700÷3=		12850÷3=	
	6200 m ²		4900 m ²		4300 m ²	
	1階床面積		1階床面積		1階床面積	
	7000 m ²		6500 m ²		5500 m ²	
	2・3階床面積		2・3階床面積		2・3階床面積	
	6225 m ²		4100 m ²		3675 m ²	

延べ床面積構成案については、1床あたり 85 m²/床として計算しています。

例) 350床×85 m²/床=29,750 m²

(2) TYPE別 階構成案

病棟ごとの1看護単位の病床数については、基本計画等で検討されることとなりますが、仮に45床前後とした場合の階構成案について示します。
 今後、適正な病床数、病床構成について検討を進めていく必要があります。

① 1看護単位 46床以下とした場合

図表3-5 TYPE別 階構成案(1看護単位 46床以下とした場合)



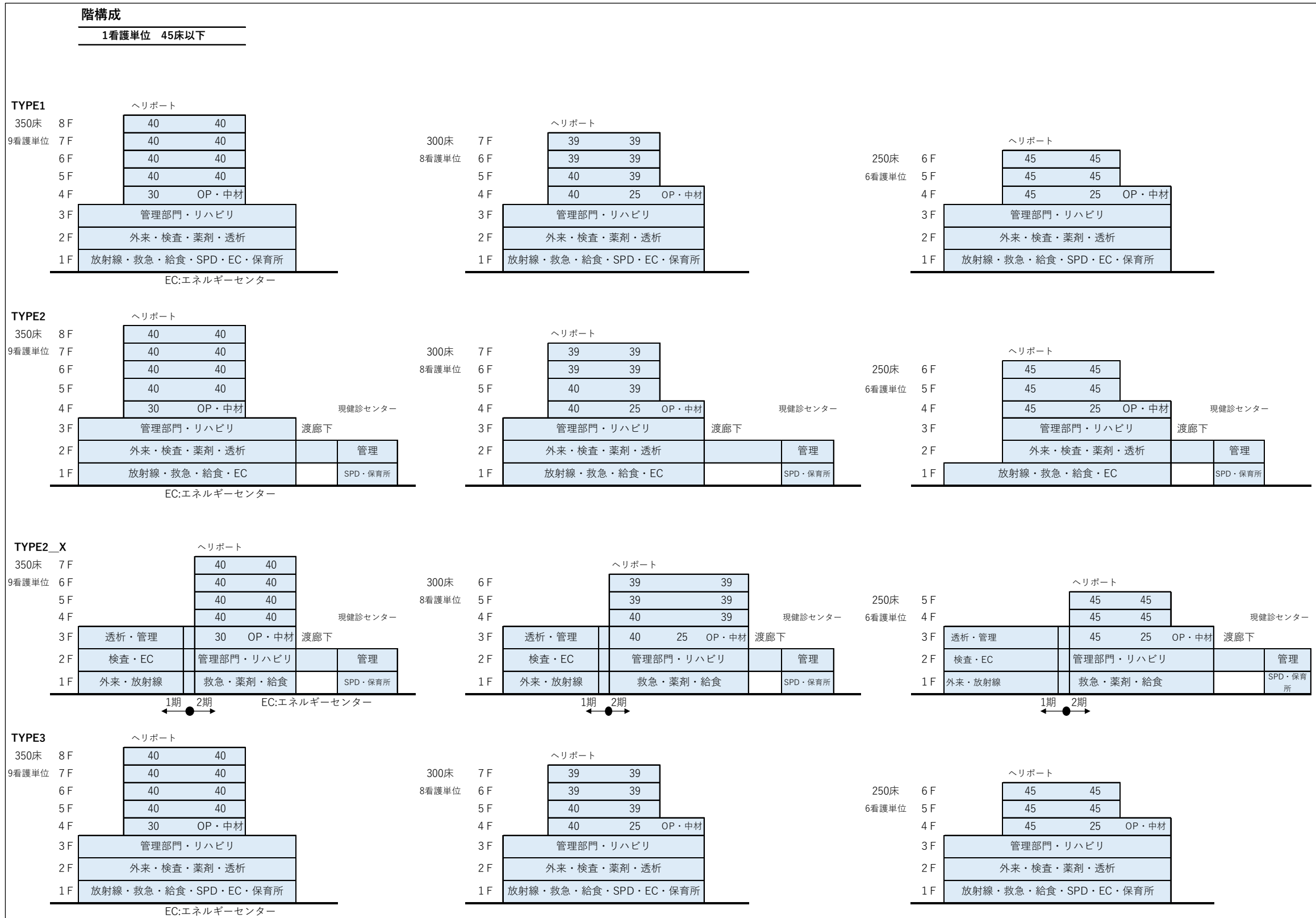
一部 46 床となる病棟があります。

TYPE2_Xについては、仮に2期に分けて建替え工事を行ったと想定した場合の階構成案です。

② 1看護単位 45床以下とした場合

45床以下とした場合、一部40床前後の看護単位となる病棟があり、看護単位数も①に比べて増加しています。今後、適切な看護単位等を検討する必要があります。

図表 3-6 TYPE別 階構成案(1看護単位 45床以下)



4. 整備スケジュール案・概算事業費等

4.1. 整備スケジュール案

各整備案について、開院までに想定される各業務期間を示しています。

(1) TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合

TYPE1 については令和9年11月開院予定としています。

図表 4-1 整備スケジュール案 TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合

	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年		2026年		2027年		2028年		2029年		2030年
	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		R10年度		R11年度		
	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4
1 基礎調査			→ 基礎調査																
2 基本構想			→ 基本構想																
3 基本計画					→ 基本計画														
4 設計 設計プロポーザル 基本設計 実施設計							→ 準備～選定		→ 基本設計		→ 実施設計(確認申請・積算)								
5 建築工事 工事入札 建設工事 外構工事1											⇒ 建築工事入札		⇒ 建設工事 (地上7階、免震構造)		⇒ 外構工事1(新病院回り)				
6 開院準備・トレーニング 開院													⇒ 開院準備・引越		▶ 開院				
7 既存部分解体・外構工事 解体設計 解体工事 外構工事2											⇒ 解体設計		⇒ 既存解体工事		⇒ 外構工事2(新駐車場回り)				

(2) TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修の場合
 (1)と同様に令和9年11月開院予定としています。

図表 4-2 整備スケジュール案 TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修の場合

	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年		2026年		2027年		2028年		2029年		2030年		
	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		R10年度		R11年度				
	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	
1 基礎調査			→ 基礎調査																		
2 基本構想			→ 基本構想																		
3 基本計画					→ 基本計画																
4 設計 設計プロポーザル 基本設計 実施設計					→ 準備～選定		→ 基本設計		→ 実施設計(確認申請・積算)												
5 建築工事 工事入札 建設工事 外構工事1									⇒ 建築工事入札		→ 建設工事 (地上7階、免震構造)			→ 外構工事1(新病院回り)							
6 開院準備・トレーニング 開院													→ 開院準備・引越		▶ 開院						
7 既存改修									→ 改修設計				→ 改修工事								
8 既存部分解体・外構工事 解体設計 解体工事 外構工事2									→ 解体設計				→ 既存解体工事		→ 外構工事2(新駐車場回り)						

(3) TYPE3 別敷地 全面建替えの場合

TYPE3では、新敷地についての敷地調査・敷地取得等に要する期間を2年間と想定しています。

基本計画は、新敷地における建築的な条件を確認した上で策定することになります。

このスケジュールは、新敷地が都市計画区域内に位置し、開発行為等の土木工事的な処理が不要な場合を前提としています。

それ以外の場合は、設計・建設工事等のスケジュールの調整が必要となります。

図表 4-3 整備スケジュール案 TYPE3 別敷地 全面建替えの場合

	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年		2026年		2027年		2028年		2029年		2030年		2031年	
	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		R10年度		R11年度		R12年度		R13年度	
	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10
1 基礎調査			基礎調査																			
2 基本構想			基本構想																			
3 敷地取得			新敷地調査・取得																			
4 基本計画							基本計画															
5 設計 設計プロポーザル 基本設計 実施設計 確認申請									準備～選定		基本設計		実施設計(確認申請・積算)									
6 建築工事 工事入札 建設工事 外構工事													建築工事入札		建設工事 (地上7階、免震構造)				外構工事			
7 開院準備・トレーニング 開院																	開院準備・引越		開院			
8 既存部分解体・外構工事 解体設計 解体整地工事											解体設計								既存解体整地工事			

4.2. 概算事業費

想定される延べ床面積から、建築工事費を算出しています。また設計料・設計監理料については国土交通省告示 98 号により算出しています。

想定工事単価については令和 4 年 5 月末時点の想定であり、建設資材費の高騰等により、設計・施工時には単価が変動する可能性があります。

(1) TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合

図表 4-4 概算事業費 TYPE1 現況敷地 全面建替えの場合

TYPE1 (現況敷地 全面建替えの場合)				TYPE1 B-300床				TYPE1 C-250床			
三次市 新病院 事業費(設計・監理費 工事費)試算				〇国土交通省告示98号による 設計料・監理料算出				〇国土交通省告示98号による 設計料・監理料算出			
想定規模	350 床×	85 m ² /床	29,750 m ²	想定規模	300 床×	85 m ² /床	25,500 m ²	想定規模	250 床×	85 m ² /床	21,250 m ²
1 設計監理料				1 設計監理料				1 設計監理料			
1-1 病院本体				1-1 病院本体				1-1 病院本体			
① 設計料				① 設計料				① 設計料			
基本設計料				基本設計料				基本設計料			
	R5年度	80%	124,970,000		R5年度	80%	110,700,000		R5年度	80%	96,600,000
	R6年度	20%	99,976,000		R6年度	20%	88,560,000		R6年度	20%	77,280,000
実施設計料				実施設計料				実施設計料			
	R6年度	90%	24,994,000		R6年度	90%	22,140,000		R6年度	90%	19,320,000
	R7年度	10%	322,130,000		R7年度	10%	285,700,000		R7年度	10%	249,200,000
② 設計監理料				② 設計監理料				② 設計監理料			
	R7年度	30%	128,480,000		R7年度	30%	121,830,000		R7年度	30%	115,250,000
	R8年度	50%	38,544,000		R8年度	50%	36,549,000		R8年度	50%	34,575,000
	R9年度	20%	64,240,000		R9年度	20%	60,915,000		R9年度	20%	69,150,000
			25,696,000				24,366,000				11,525,000
設計・設計監理料 計				設計・設計監理料 計				設計・設計監理料 計			
575,580,000				518,230,000				461,050,000			
③ 追加業務				③ 追加業務				③ 追加業務			
③-1 積算(実施設計終盤)				③-1 積算(実施設計終盤)				③-1 積算(実施設計終盤)			
			57,190,000				50,700,000				44,200,000
③-2 構造計算適合性判定及び建築物消費性能適合性判定(確認申請時)				③-2 構造計算適合性判定及び建築物消費性能適合性判定(確認申請時)				③-2 構造計算適合性判定及び建築物消費性能適合性判定(確認申請時)			
			317,000				317,000				317,000
①+②+③				①+②+③				①+②+③			
633,087,000				569,247,000				505,567,000			
1-2 外構				1-2 外構				1-2 外構			
① 設計				① 設計				① 設計			
			23,940,000				24,310,000				24,690,000
② 設計監理				② 設計監理				② 設計監理			
	R9年度	30%	4,780,000		R9年度	30%	4,860,000		R9年度	30%	4,930,000
	R10年度	70%	1,434,000		R10年度	70%	1,458,000		R10年度	70%	1,479,000
			3,346,000				3,402,000				3,451,000
①+②				①+②				①+②			
28,720,000				29,170,000				29,620,000			
1-3 解体				1-3 解体				1-3 解体設計			
① 設計				① 設計				① 設計			
			6,360,000				6,360,000				6,360,000
② 設計監理				② 設計監理				② 設計監理			
	R9年度	50%	2,380,000		R9年度	50%	2,380,000		R9年度	50%	2,380,000
	R10年度	50%	1,190,000		R10年度	50%	1,190,000		R10年度	50%	1,190,000
			1,190,000				1,190,000				1,190,000
①+②				①+②				①+②			
8,740,000				8,740,000				8,740,000			
設計監理 合計				設計監理 合計				設計監理 合計			
670,547,000				607,157,000				543,927,000			
3 建築工事費				3 建築工事費				3 建築工事費			
3-1 病院本体工事費				3-1 病院本体工事費				3-1 病院本体工事費			
			延床面積				延床面積				延床面積
			29,750 m ²				25,500 m ²				21,250 m ²
			想定工事単価				想定工事単価				想定工事単価
			500,000 円/m ²				500,000 円/m ²				500,000 円/m ²
			14,975,000,000				12,850,000,000				10,725,000,000
	R7年度	30%	4,492,500,000		R7年度	30%	3,855,000,000		R7年度	30%	3,217,500,000
	R8年度	50%	7,487,500,000		R8年度	50%	6,425,000,000		R8年度	50%	5,362,500,000
	R9年度	20%	2,995,000,000		R9年度	20%	2,570,000,000		R9年度	20%	2,145,000,000
3-2 外構工事費				3-2 外構工事費				3-2 外構工事費			
	R9年度	30%	478,800,000		R9年度	30%	486,300,000		R9年度	30%	493,800,000
	R10年度	70%	143,640,000		R10年度	70%	145,890,000		R10年度	70%	148,140,000
			335,160,000				340,410,000				345,660,000
3-3 解体工事費				3-3 解体工事費				3-3 解体工事費			
	R9年度	50%	795,000,000		R9年度	50%	795,000,000		R9年度	50%	795,200,000
	R10年度	50%	397,500,000		R10年度	50%	397,500,000		R10年度	50%	397,600,000
			397,500,000				397,500,000				397,600,000
3 建築工事費 合計				3 建築工事費 合計				3 建築工事費 合計			
16,248,800,000				14,131,300,000				12,014,000,000			
設計監理料+工事費				設計監理料+工事費				設計監理料+工事費			
16,919,347,000				14,738,457,000				12,557,927,000			
18,611,281,700				16,212,302,700				13,813,719,700			

注) 本体工事費の想定工事単価(500,000円/m²・税別)については、令和4年5月末時点での想定であり、昨今の建設資材費の高騰等により設計・施工時には単価が変動する可能性があります。

(3) TYPE3 別敷地 全面建替えの場合

図表 4-6 概算事業費 TYPE3 別敷地 全面建替えの場合

TYPE3 (別敷地 全面建替えの場合)				TYPE3 B-300床				TYPE3 C-250床			
三次市 新病院 事業費(設計・監理費 工事費)試算				○国土交通省告示98号による 設計料・監理料算出				○国土交通省告示98号による 設計料・監理料算出			
想定規模	350床×	85㎡/床	29,750㎡	想定規模	300床×	85㎡/床	25,500㎡	想定規模	250床×	85㎡/床	21,250㎡
1 設計監理料				1 設計監理料				1 設計監理料			
1-1 病院本体				1-1 病院本体				1-1 病院本体			
① 設計料				① 設計料				① 設計料			
基本設計料				基本設計料				基本設計料			
		124,900,000	137,390,000			110,700,000	121,770,000			96,600,000	106,260,000
R7年度	80%	99,920,000	109,912,000	R7年度	80%	88,560,000	97,416,000	R7年度	80%	77,280,000	85,008,000
R8年度	20%	24,980,000	27,478,000	R8年度	20%	22,140,000	24,354,000	R8年度	20%	19,320,000	21,252,000
実施設計料				実施設計料				実施設計料			
		322,100,000	354,310,000			285,700,000	314,270,000			249,200,000	274,120,000
R8年度	70%	225,470,000	248,017,000	R8年度	70%	199,990,000	219,989,000	R8年度	70%	174,440,000	191,884,000
R9年度	30%	96,630,000	106,293,000	R9年度	30%	85,710,000	94,281,000	R9年度	30%	74,760,000	82,236,000
② 設計監理料				② 設計監理料				② 設計監理料			
		128,400,000	141,240,000			121,800,000	133,980,000			115,250,000	126,775,000
R9年度	20%	25,680,000	28,248,000	R9年度	20%	24,360,000	26,796,000	R9年度	20%	34,575,000	38,032,500
R10年度	60%	77,040,000	84,744,000	R10年度	60%	73,080,000	80,388,000	R10年度	60%	57,625,000	63,387,500
R11年度	20%	25,680,000	28,248,000	R11年度	20%	24,360,000	26,796,000	R11年度	20%	23,050,000	25,355,000
設計・設計監理料 計				設計・設計監理料 計				設計・設計監理料 計			
		575,400,000	632,940,000			518,200,000	570,020,000			461,050,000	507,155,000
③ 追加業務				③ 追加業務				③ 追加業務			
③-1 積算(実施設計終盤)				③-1 積算(実施設計終盤)				③-1 積算(実施設計終盤)			
		57,190,000	62,909,000			50,700,000	55,770,000			44,200,000	48,620,000
R9年度				R9年度				R9年度			
③-2 構造計算適合性判定及び建築物消費性能適合性判定(確認申請時)				③-2 構造計算適合性判定及び建築物消費性能適合性判定(確認申請時)				③-2 構造計算適合性判定及び建築物消費性能適合性判定(確認申請時)			
		317,000	348,700			317,000	348,700			317,000	348,700
R9年度				R9年度				R9年度			
①+②+③				①+②+③				①+②+③			
		632,907,000	696,197,700			569,217,000	626,138,700			505,567,000	556,123,700
1-2 外構				1-2 外構				1-2 外構			
① 設計				① 設計				① 設計			
		30,750,000	33,825,000			31,120,000	34,232,000			31,500,000	34,650,000
R9年度				R6年度				R6年度			
② 設計監理				② 設計監理				② 設計監理			
		6,150,000	6,765,000			6,220,000	6,842,000			6,300,000	6,930,000
R11年度				R11年度				R11年度			
①+②				①+②				①+②			
		36,900,000	40,590,000			37,340,000	41,074,000			37,800,000	41,580,000
1-3 解体				1-3 解体				1-3 解体			
① 設計				① 設計				① 設計			
		6,360,000	6,996,000			6,360,000	6,996,000			6,360,000	6,996,000
R9年度				R9年度				R9年度			
② 設計監理				② 設計監理				② 設計監理			
		2,380,000	2,618,000			2,380,000	2,618,000			2,380,000	2,618,000
R12年度				R12年度				R12年度			
①+②				①+②				①+②			
		8,740,000	9,614,000			8,740,000	9,614,000			8,740,000	9,614,000
設計監理料 合計				設計監理料 合計				設計監理料 合計			
		678,547,000	746,401,700			615,297,000	676,826,700			552,107,000	607,317,700
3 建築工事費				3 建築工事費				3 建築工事費			
3-1 病院本体内工事費				3-1 病院本体内工事費				3-1 病院本体内工事費			
		延床面積	29,750㎡			延床面積	25,500㎡			延床面積	21,250㎡
		想定工事単価	500,000円/㎡			想定工事単価	500,000円/㎡			想定工事単価	500,000円/㎡
		14,975,000,000	16,472,500,000			12,850,000,000	14,135,000,000			10,725,000,000	11,797,500,000
		(ヘリポート整備費込)				(ヘリポート整備費込)				(ヘリポート整備費込)	
R7年度	20%	2,995,000,000	3,294,500,000	R7年度	20%	2,570,000,000	2,827,000,000	R7年度	20%	2,145,000,000	2,359,500,000
R8年度	60%	8,985,000,000	9,883,500,000	R8年度	60%	7,710,000,000	8,481,000,000	R8年度	60%	6,435,000,000	7,078,500,000
R9年度	20%	2,995,000,000	3,294,500,000	R9年度	20%	2,570,000,000	2,827,000,000	R9年度	20%	2,145,000,000	2,359,500,000
3-2 外構工事費				3-2 外構工事費				3-2 外構工事費			
		615,000,000	676,500,000			622,500,000	684,750,000			630,000,000	693,000,000
R11年度				R11年度				R11年度			
3-3 解体整地工事費(現在地)				3-3 解体整地工事費(現在地)				3-3 解体整地工事費(現在地)			
		795,000,000	874,500,000			795,000,000	874,500,000			795,200,000	874,720,000
R12年度				R12年度				R12年度			
3 建築工事費 合計				3 建築工事費 合計				3 建築工事費 合計			
		16,385,000,000	18,023,500,000			14,267,500,000	15,694,250,000			12,150,200,000	13,365,220,000
総計(設計監理料+工事費)				総計(設計監理料+工事費)				総計(設計監理料+工事費)			
		17,063,547,000	18,769,901,700			14,882,797,000	16,371,076,700			12,702,307,000	13,972,537,700

注) ①上記の事業費のほかに、新敷地取得に要する敷地取得費用、新敷地が農地であれば農振解除・農地転用手続き費用、造成工事等が必要であればそれに伴う開発行為手続き費用・造成工事費用等が必要となり、敷地確定後に算出が必要となります。
 ②本体内工事費の想定工事単価(500,000円/㎡・税別)については、令和4年5月末時点での想定であり、昨今の建設資材費の高騰等により設計・施工時には単価が変動する可能性があります。

5. TYPE別 比較表

「3.配置計画等」、「4.整備スケジュール案・概算事業費等」を表にし、問題点・検討課題をまとめたものが図表5-1になります。

図表5-1 TYPE別 比較表

比較項目		TYPE1 現況敷地 全面建替え	TYPE2 現況敷地 増築+健診センター改修	TYPE3 別敷地 全面建替え
1. 整備の概要		①新本館棟(7階建て)を建設 ②既存棟解体後、外構工事	①新本館棟(7階建て)を増築 ②健診センターを改修工事 ③既存棟を解体後、外構工事	①別敷地に新病院(7階建て)を建設
2. 事業計画全期間		5年6か月間	6年2か月間	5年9か月間(既存解体まで) (用地選定・取得期間を除く)
3. 工期 (350床の場合) (開院に向けての工事期間)		2年間	2年7か月間	2年1か月間
		①新本館棟: 21か月、 ②外構工事1: 3か月	①新本館棟: 21か月、 ②外構工事1: 3か月、 ③健診センター改修: 7か月	①新棟: 21か月、 ②外構工事: 4か月
4. 延床面積	350床	①新本館棟工事: 29,750 m ²	①新本館棟工事: 25,500 m ² ②改修工事: 2,200 m ² 計 27,700 m ²	①新本館棟工事: 29,750 m ²
	300床	①新本館棟工事: 25,500 m ²	①新本館棟工事: 23,300 m ² ②改修工事: 2,200 m ² 計 25,500 m ²	①新本館棟工事: 25,500 m ²
	250床	①新本館棟工事: 21,250 m ²	①新本館棟工事: 19,050 m ² ②改修工事: 2,200 m ² 計 21,250 m ²	①新本館棟工事: 21,250 m ²
5. 事業費概算 (税込 設計監理料+工事費)				
	350床	18,610,000,000	17,830,000,000	18,770,000,000
	300床	16,210,000,000	15,390,000,000	16,370,000,000
	250床	13,810,000,000	13,000,000,000	13,970,000,000
6. 問題点・検討課題				
工事関係	①工事着手までの時間	・早期着手可能	・早期着手可能	・用地確保・諸手続き(開発行為等)に時間がかかる場合がある
	②外来患者への影響	・騒音等の影響が予想される	・騒音等の影響が予想される	-
	③入院患者への影響	・工事現場から離れているため、騒音等の影響は少ないと予想される	・工事現場から離れているため、騒音等の影響は少ないと予想される	-
	④外来患者のアクセス	・工事中の駐車場の位置が現状よりも遠くなるため、歩行距離が長くなる	・工事中の駐車場の位置が現状よりも遠くなるため、歩行距離が長くなる	-
	⑤救急車のアクセス	・現状とほぼ同じ	・現状とほぼ同じ (健診センター改修時は、新本館棟内の救急部門で診療)	-
	⑥駐車スペース	・工事中の患者・職員用の駐車スペースの確保が必要	・工事中の患者・職員用の駐車スペースの確保が必要	-
診療関係	①病棟関係	・特に問題なし	・特に問題なし	・特に問題なし
	②外来関係	・特に問題なし	・特に問題なし	・特に問題なし
病院経営	①外来患者数	・特に問題なし	・特に問題なし	-
	②入院患者数	・特に問題なし	・特に問題なし	-
	③医療収益	・特に問題なし	・特に問題なし	-
	④地域の医療提供体制への影響	・特に問題なし	・特に問題なし	-
その他	①増築への対応	・北側駐車場スペースを活用	・北側駐車場スペースを活用	・当初計画から将来の増築・建替えスペースを含めた構想が可能
	①建設用地の確保	-	-	・建設用地の候補地選定、土地購入費用等が別途必要

問題点・検討課題

6. 基礎調査業務の方向性

基本構想検討委員会の中で基礎調査業務を検討した結果、以下の意見が挙げられました。

○検討委員会での意見

【TYPE1 について】

- ・現在地建替えの場合、診療への影響や騒音、工事中の駐車場確保等が心配。
- ・救急入院患者や高齢者向け駐車スペースと、工事車両出入り口が近い場合、安全面への配慮が気になる。
- ・災害に強い現在地の利点を活かすべき。
- ・感染症対策のため、患者や医療従事者の動線を確保しやすい全面建替えが望ましい。

【TYPE2 について】

- ・動線が複雑になり、使い勝手があまり良くないのではないか。
- ・健診センター棟等が残ることにより設計段階で、設計上の負荷がかかるのではないか。

【TYPE3 について】

- ・別敷地のため、既存診療への影響や騒音等の心配がない。
- ・用地の確保が必要となり、用地取得費等が余分にかかる。
- ・TYPE3 は、現在地より災害に強い候補地がないのでは。

検討の結果、以下の方向性が示されました。

○検討委員会での方向性

工事において、患者や来院者への安全面等の配慮や影響を軽減する方法を検討して欲しいことを付託して、『TYPE1 現在地での全面建替えが適当である。』との結論を得ました。